

製品名: SP1 ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe02628

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.54mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 81 kDa; Observed MW: 90 kDa

抗原情報

遺伝子名	SP1
別名	SP1; TSFP1; Transcription factor Sp1
遺伝子 ID	6667
SwissProt ID	P08047
免疫原	ヒト SP1 の組み換えタンパク質

背景

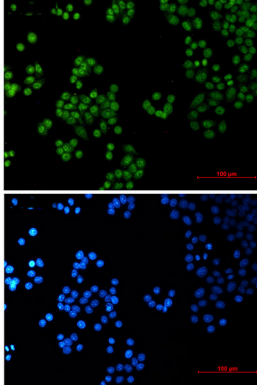
SP1 は、Sp1 C2H2 型ジンクフィンガータンパク質ファミリーに属する転写因子です。MAPK によってリン酸化され活性化されま

す。PTEN による脱リン酸化は DNA 結合を阻害します。核内では p38 に結合します。

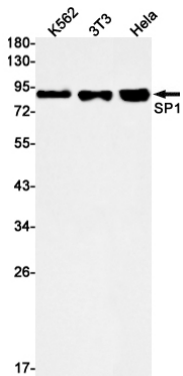
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

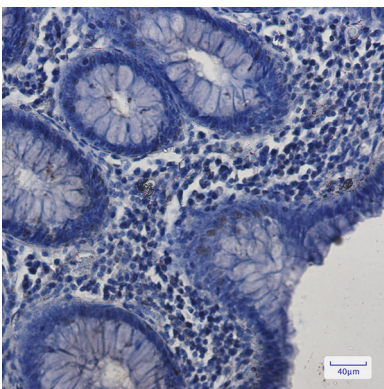
画像データ



SP1 抗体と DAPI (青) を使用した HeLa 中の SP1 (緑) の免疫細胞化学分析。



SP1 抗体を使用した K562、3T3、HeLa 溶解物中の SP1 のウエスタン ブロット分析。



SP1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。